

1973 (毎月1回発行)

11月号

(村の面積)

332,60 km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和48年10月1日現在)

村の人口

総人口	2,206人
男	1,138人
女	1,068人
出生	4人
死亡	1人
転入	7人
転出	9人

世帯数 605世帯

文部大臣表彰に輝く 大納小中P.T.A

大納小中P.T.Aは十月二十七日東京九段会館において、常陸宮殿下ご夫妻ご臨席のもと、奥野文部大臣から、P.T.Aの発展に尽されてきた功績が認められて文部大臣表彰を受けられました。

表彰式には、P.T.Aを代表して相良会長と新屋大納中教頭が参列し、奥野文部大臣から直接手渡されるという栄誉に浴しました。

なお同P.T.Aは、福井県P.T.A連合会長表彰(昭和四十三年十月二十日付)。日本P.T.A全国協議会長表彰(昭和四十六年八月二十七日付)も受けています。

獵銃事故のないように
一日から来年二月十五日まで、狩猟が解禁されました。幸い私達の村での事故はありませんが、新聞、テレビでは獵銃による事故が報道されています。ハンターの方は、事故のないよう獵銃の保持、保管に、とくにご注意ください。

河川をきれいに

九頭竜ダム群ができたため、水量が少なく、汚れが目立ちます。木の葉が落ち、雑草が枯れ始めますと、空カンやビニールの空袋が特に目につきます。観光和泉の名に恥ぢないよう、ひとりひとりが気をつけましょう

ご遺族へのお願い

今次の戦争(昭和十二年七月七日以後)で戦務に従事し、これに関連して死没した軍人軍属等に対して叙位、叙勲が行われておりませんが、ご遺族の方で戦没者の勲章等をまだお受けとりにない方は、役場、または、県厚生部福祉課に申し出て下さい。

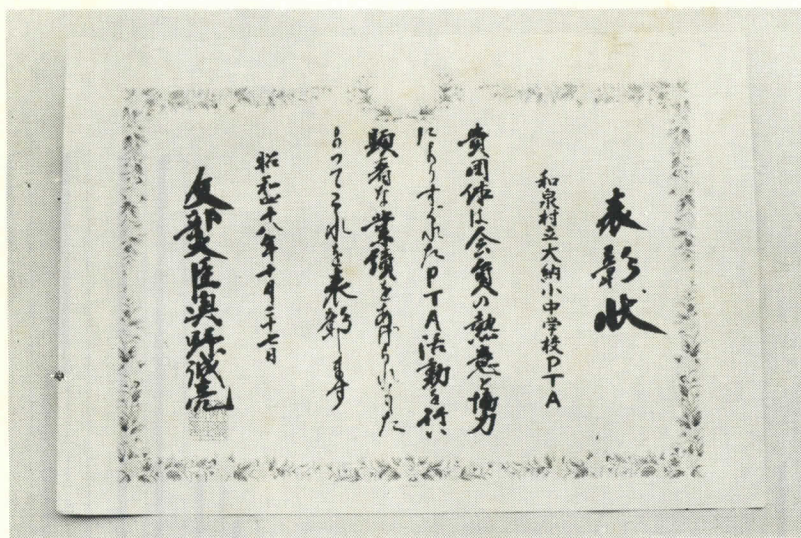
秋の火災予防週間始まる

11月26日から12月2日まで
火災の多発期を迎え、村民ひとりひとりの防火意識の向上を図り火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期しております。

重点目標

- 1、家庭における安全点検
- 2、旅館、病院、福祉施設等における消防用設備等の保守および避難。
- 3、工場、作業場の火災防止

大納小中P.T.Aに授与された文部大臣表彰状

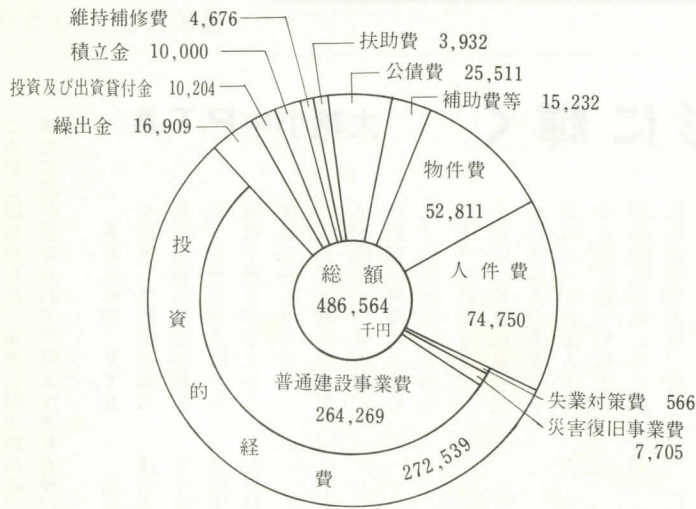


昭和47年度一般会計決算状況

歳入決算額 500,183,131円 歳出決算額 486,564,342円

歳入歳出差引残高13,618,789円

性質別歳出決算



財政白書

財政事情の公表

昭和四十七年度決算
昭和四十八年度上半期

和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより村の財政事情を公表します。

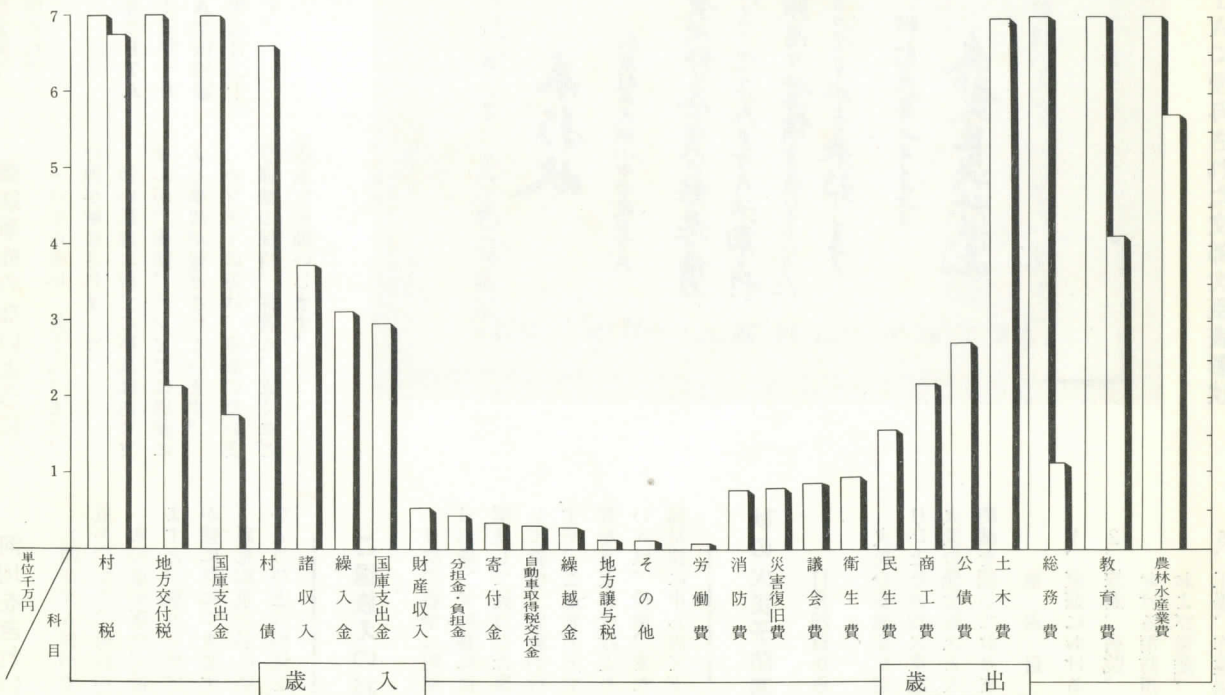
今回は昭和四十七年度決算と昭和四十八年度上半期の財政運営状況について、そのあらましを説明します。

この財政事情は村民の皆さんに村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを充分ご認識いただくものであります。

今後とも村勢発展のため一層のご協力をお願いします。

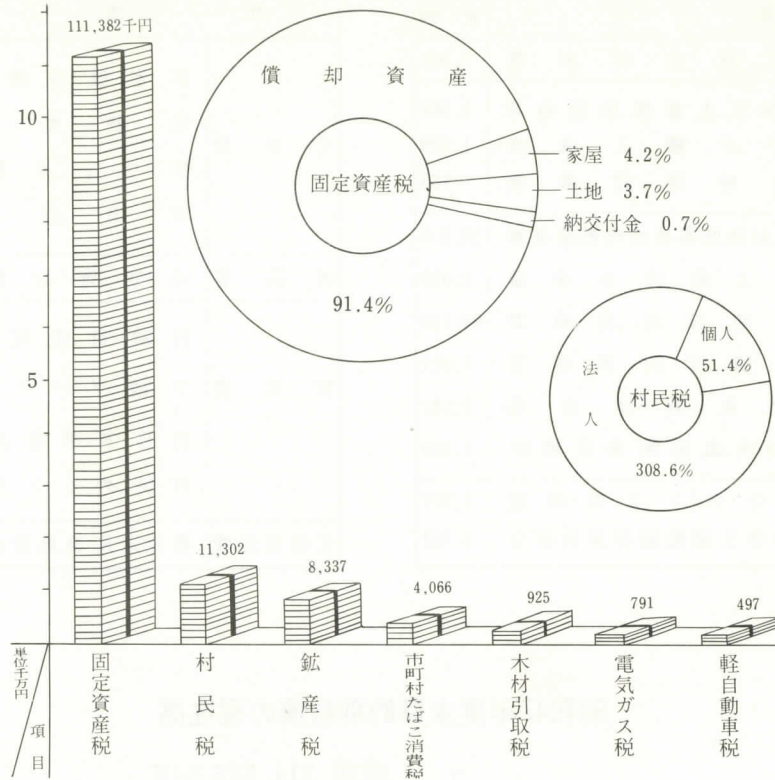
昭和四十七年十一月一日

和泉村長 杉本又助

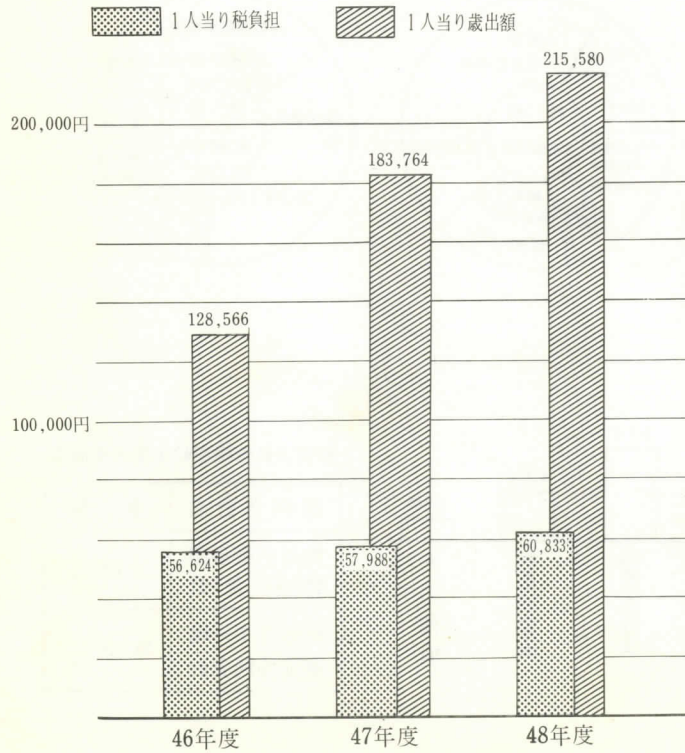


村税の収入状況

総額 1億3730万



村民1人当り税負担額と歳出額の年度別比較



1世帯当り		1人当り
	村税負担額	
18,112 円	村民税	5,007 円
178,497	固定資産税	49,349
797	軽自動車税	220
6,516	たばこ消費税	1,802
1,268	電気ガス税	351
13,361	鉦産税	3,694
1,482	木材引取税	410
220,033	合計	60,833

主な事業の内訳

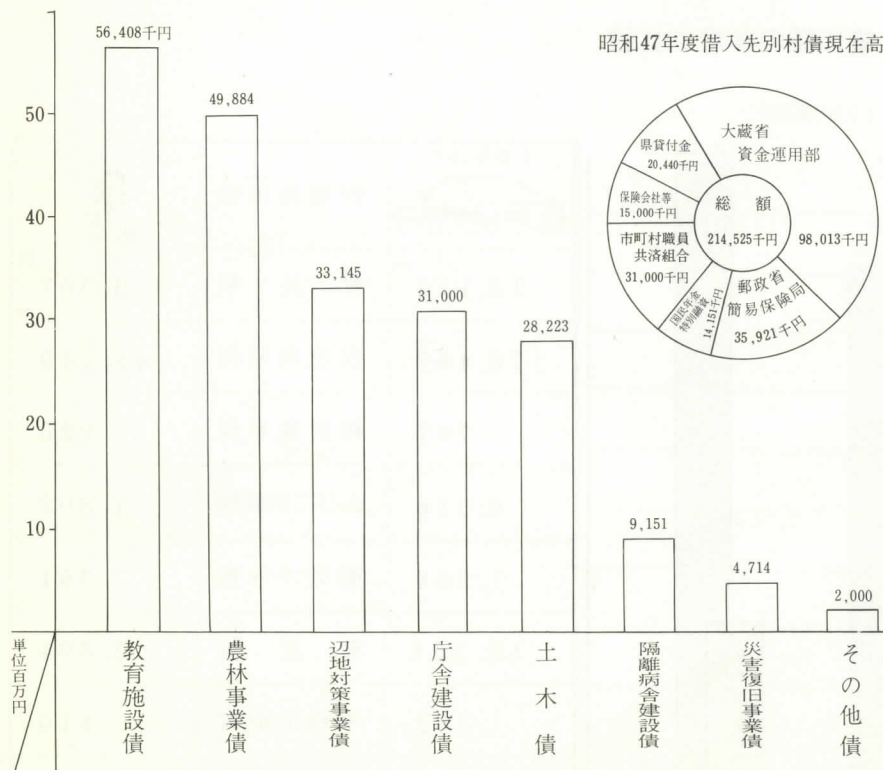
(単位千円)

事業名	金額
総務費	2,568
衛生費	2,668
農林水産業費	1,020
商工費	950
振興山村特開事業市場整備事業	10,218
県単土地改良事業	2,929
林道開設改良事業	94,153
林業構造改善事業	7,822
淡水魚放流事業	2,382
内水面漁業振興事業補助	1,300
前坂キャンプ場事業	1,597
奥越自然公園整備事業負担金	3,333

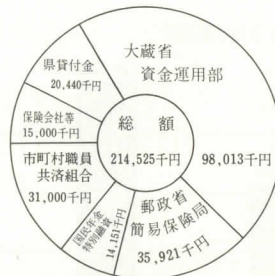
事業名	金額
土木費	9,808
消防費	26,041
教育費	18,089
災害復旧費	4,455
県道改良事業負担金	2,655
道路整備事業	24,454
橋りょう整備事業	19,858
河川改修事業	9,559
消防施設整備事業	10,320
教職員住宅建設事業	7,705
学校プール建設事業	
朝日中寄宿舎建設事業	
村民グラウンド建設事業	
農林水産業施設災害復旧事業	

昭和47年度末目的別村債の現在高

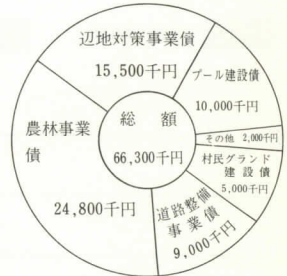
総額 214,525千円



昭和47年度借入先別村債現在高



昭和47年度村債の借入状況



特別会計の昭和47年度末現債高

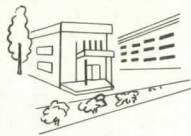
特別会計名	金額
簡易水道事業特別会計	10,425千円
村営スキー場事業特別会計	35,000千円

▲今月の目標▼
 火災の多い季節に向います
 火の始末に充分注意しまし
 よう。
 カゼが流行しています。夜
 ふかしなどはカゼをひく原
 因になります。

ねんさい No.68
カゼ
 オヤシ
 山みね



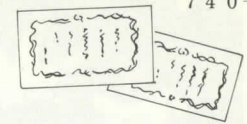
建物延べ 17,281.26㎡
 宅地 9,023.93㎡



山林 1,100.57ha
 その他 2.03ha



有価証券



740千円

公有財産の状況

昭和48年3月31日現在

自動車 12台
 ブルトレーザ 2台
 ダンプトラック 1台
 ベイローダ 1台



基金

財政調整基金 36,255,408円
 国民年金印紙購入基金 200,000円
 災害救助資金 240,000円



出資金

3,671千円



昭和47年度
 特別会計決算
 の状況

簡易水道事業

歳入 9,099,603円
 歳出 8,624,546円
 給水世帯 294世帯
 給水人口 1,155人



農業共済事業

歳入 2,250,122円
 歳出 1,998,937円
 引受戸数 97戸
 引受面積 2,682a
 引受収量 60t



国民健康保険事業

歳入 14,032,646円
 歳出 14,013,405円
 被保険者数 551人
 1人当り保険税 5,094円
 1人当り療養費 17,140円

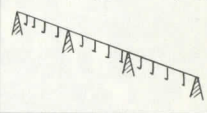


診療所事業

歳入 10,144,492円
 歳出 9,620,102円
 病床 一般 6床
 伝染病 12床
 診療件数 一般2,797件
 歯科 228件

村営スキー場事業

歳入 41,613,995円
 歳出 41,169,285円
 リフト一基 310m
 利用者数 12,659人



昭和48年度一般会計予算 (9月現在)

歳入	区	分	当初予算	補正額	現計予算	収入済額	収入率
村	税		123,067	9,826	132,893	60,318	45.4
地方譲与税			1,200		1,200	361	30.1
自動車取得税交付金			2,600		2,600	1,167	44.9
地方交付税			103,500		103,500	76,532	73.9
交通安全対策特別交付金			150		150		
分担金及び負担金			4,011		4,011	1,003	25.0
使用料及び手数料			922		922	495	53.7
国庫支出金			52,186	221	52,407	1,411	2.7
県支出金			85,479	2,066	87,545	336	0.4
財産収入			3,360	600	3,960	4,252	107.4
寄付金			3,613		3,613	300	8.3
繰入金			39,000	2,000	41,000	7,000	17.1
繰越金			1,100	12,519	13,619	13,619	100.0
諸収入			1,862	400	2,262	1,103	48.8
村債			162,300	△22,000	140,300		
計			584,350	△5,632	589,982	167,896	28.5

歳出	区	分	当初予算	補正額	現計予算	支出済額	支出率
議会費			7,872	450	8,322	4,279	51.4
総務費			59,036	7,139	66,175	27,593	41.7
民生費			17,853	2,904	20,757	7,854	37.8
衛生費			6,034	4,583	10,617	2,662	25.1
労働費			237	58	295	11	3.7
農林水産業費			116,937	4,578	121,515	25,755	21.2
商工費			64,383	△40,431	23,952	2,286	9.5
土木費			86,345	4,400	90,745	7,102	7.8
消防費			10,720	261	10,981	5,387	49.1
教育費			168,909	17,356	186,265	83,191	44.7
災害復旧費			7,246	202	7,448	5,784	77.7
公債費			34,508		34,508	10,281	29.8
諸支出金				2,949	2,949		
予備費			4,270	1,183	5,453		
計			584,350	5,632	589,982	182,186	30.9

新しく購入する
石油ストーブは

自動消火装置付を

昭和四十八年七月の火災予防条例の改正により、液体を燃料とする移動式の石油ストーブは、自動消火装置付に定められました。従って、現に使用中の自動消火装置のないものについては、昭和五十二年十月一日以降は使用できないことになりました。今後購入される場合は、自動消火装置付のものを購入してください。

手づくりの山菜料理で
和光園を訪問

和泉村民生委員（三島藤市総務）では、十月十七日、委員手づくりの山菜料理（わらび、うど、ぜ



民生委員のおはぎづくり
(朝日道場にて)

んまい、里いもなどの煮つけ、クルミあえなど）や、おはぎを持って大野市の老人ホームと和光園と善隣館（身寄りのない子供の収容施設）を訪問しました。

とくに、和光園では、お年寄りと山菜料理を会食し、お年寄りを慰さてきました。

また、三十一日には、全村を通じてお寄せいただいた、家庭用品を県の善意銀行を通じて不幸な方々へ送りました。



増える交通事故に
ストップをかけよう

最近の交通事故は、都市から郡部へと増加しております。

いまは、交通事故も他人事ではなくなりました。いつ自分の身にふりかかってくるかもわかりません。村民ひとりひとりが交通ルールを守って事故防止につとめましょう。

◎運転者の方え

▼無理な追越しとスピードの出すぎは自殺行為です。絶対に、やめましょう。

▼過労運転、わき見運転は、酔っぱらい運転と同じで、非常に危険です。

◎歩行者、自転車の方え

▼老人の夜の外出は、家族同伴で行きましょう。

▼こどもは道路で遊ばせないようお互いに注意しましょう。

▼物かげから飛び出したり、車の直前の横断はやめましょう
▼自転車のカサさし運転は絶対に止めましょう。

戦没者
殉職者 合同慰霊祭を厳修

十月十六日、本村社会福祉協議会主催のもとに、戦没者ならびに本村のため殉職せられた方の合同慰霊祭が執行されました。

ことしは、祭段に従来の菓子、果物類のお供物を廃止、菊花など花一式に改め又、戦没者とともに村のために殉職された方をふくめ合同の慰霊祭が厳修されました。



戦没者、殉職者の合同慰霊祭

人のうごき

◎死亡

朝日 朝日 啓太郎(92)

◎赤ちゃん誕生

上大納 氏家 稔 英明 二男
上大納 氏家 孝 英明 三男
上大納 鈴木 理恵 正夫 長女
川合 新井亜矢子 基衛 二女



亜矢子ちゃん

世界を一つに

世界連邦日本大会開かる

日本に世界連邦建設同盟が創立されてから二十五周年、東京都が世界連邦建設同盟自治体宣言を行ってから十周年、これらを記念して十月十六日、東京で、世界連邦日本大会が開催されました。

全国各地から出席して、世界平和実現の唯一の途は、世界連邦建設にありとして真剣に討議が行われ、有意義な大会でありました。地球上に現在住んでいる人間は約三十六億といわれているが、さらに人口は年々増加するばかりで資源は枯渇し、環境汚染は世界的となつてまいりました。ベトナム戦争が終つたかと思えば、またまた中東の紛争のくすぶりが続いており、第三次世界大戦が起らないと誰も保償するものではありません

科学兵器の発達した今日、もし世界的規模の大戦争がぼつ発したとすれば、敵も味方も共倒れであり、人類の破滅と地球の破壊であることは、科学者が声を大にして叫んでいるところでもあります。世界に真の平和と人類の幸福を築くためには、世界が一つになり、世界政府のもとに、世界法に基づいて世界秩序を確立する以外に方法はありません。世界連邦の建設こそその近道であり、人類の歴史的課題であります。本村議会では、昭和三十六年既に世界連邦宣言を行っていることを想起したいと思います。

(山内守人)

役場職員の一部異動

() 内前職

収入役室主事

水谷康子(住民課戸籍年金係長)

住民課主事

佐藤喜久江(収入役室主事)

企画室事務補

宮下 貢(新採用)

退職

事務吏員 三野 登記尾

用務員 西 あきを

用務員 深谷 ハルエ

あとがき

丸二年も冬らしい積雪をみませんが、ことしはそんなわけにはいかないかわかりません。早目に、庭木の手入れ、越冬物資の取り込みを終えたいものです